

わたしたちは、良質な医療を提供し、地域の皆様から愛され、信頼される病院を目指します！



まいちよこ通信

2024年
夏号
VOL.10



地域連携室スタッフ

特集

地域在宅医療部の紹介

〈内容〉

●地域在宅医療部の紹介 ●骨密度測定装置の紹介 ●看護フェアについて

地域在宅医療部の紹介



ごあいさつ



西伯病院の地域在宅医療部には6つの部署があり、医療や介護が必要とされる方への通所サービスや訪問サービス、また、総合相談や地域と病院との連携など、地域生活を支えるために必要な機能を備えています。私は、この4月から、地域在宅医療部長として着任しました。それぞれの役割を持つ、各部署スタッフが一人となり、多くの対象者様方、また地域医療の役に立つよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

地域在宅医療部長 高田久美

● 南部町訪問看護ステーション



南部町訪問看護ステーションは、ご利用者様の「住み慣れた我が家で自分らしく生きること」を支えるための支援を現在7名の看護師で、医療・介護・福祉などの関係機関と連携を取りながら訪問支援活動を行っています。医療的ケアを必要とする小児や、介護が必要な高齢者、また、慢性疾患や精神疾患をお持ちの方など、多様な疾患や幅広い年代に対応しています。病気や障害を持ちながら地域生活を送ってられる利用者さんの笑顔のそばに、心に寄り添いながら、日々頑張っています！！



● 重度認知症デイケア「らくらく」



医療保険でご利用いただける、認知症の方のための通所サービスです。「らくらく」がある2階の廊下には昭和30年代の町並みが再現されています。昔の看板や道具を見ながら、当時の思い出や体験してこられた事をお聞きすると、普段と違った様子で話しをされることもあります。またお得意だった計算や漢字、ことわざの問題なども良い刺激になります。私たちスタッフも利用者様の元気な様子や、穏やかな笑顔がみられると嬉しさを感じます。皆さんに居心地の良い場所にと日々工夫し、ご本人はもちろん、ご家族にとっても安心できる、心強い存在になればと心がけています。また地域の認知症ケアに皆



〈患者様作品〉



〈2階の廊下〉

様と一緒に取り組める場でありたいと思っています。よろしくお願いいたします。

● 地域連携室



地域連携室は、看護師、社会福祉士、精神保健福祉士、事務員といった、医療・介護・福祉の多職種スタッフで構成されています。患者さんが安心して住み慣れた地域で入院治療や在宅療養が継続できるよう、院内のスタッフや地域の医療・福祉・行政機関など多くの関係機関をつなぐ役割（連携）を担っています。受診や入退院に関すること、通院先の変更や介護サービスや福祉サービスの利用に関すること、医療費助成や各種制度利用に関することなど、お気軽にご相談いただければと思います。患者様、ご家族様の思いを中心に、西伯病院が地域と一体となって健康・生活の支援ができるよう今後も尽力をしていきたいと思っています。

● 精神科デイケア

精神科デイケアは、医師、看護師、作業療法士、心理士、精神保健福祉士などの専門職で運営しています。精神科デイケアは、利用者様が地域で安心して生活が送れるよう援助することを目的としています。「生活リズムを整えたい・体力をつけたい・人との関わり方を学びたい・悩みを聞いて欲しい・ストレスを解消したい」など、利用される方のニーズに合わせてプログラムを構成しています。運動、手芸、趣味活動、外出など活動内容は様々です。利用者様から親しんでもらえる、困った時は頼りにしてもらえるようなデイケアを目指して、利用者様一人一人に寄り添った関わりを大切にしています。よろしくお願いします。

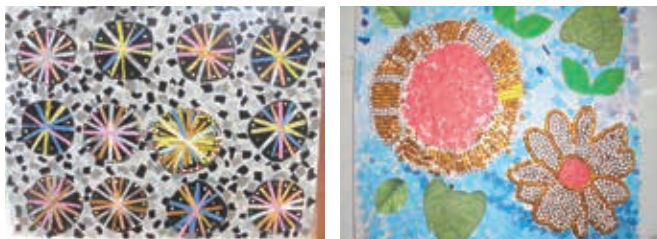


〈患者様作品〉



● 通所リハビリテーション

当院通所リハビリテーションは、介護保険制度にて要支援・要介護の認定を受けられた方や総合事業（通所型サービスC）の対象となった方に利用していただいています。送迎があり、毎回健康チェックを行いながら、個別リハビリ・集団体操、脳トレや季節の作品作り、レクリエーション、食べることや入浴など日常生活動作に関するリハビリなど個々に合わせたサービス・プログラムを実施しています。運動量、活動量の向上を図り、歳を重ねても可能な限り自立した生活を、楽しみながら送っていただけるよう支援させていただいています。また、自宅での生活がより安全に過ごせるよう、住宅改修、福祉用具のアドバイスなども行っています。



〈患者様作品〉



● 認知症疾患医療センター

認知症疾患医療センターには医師、看護師、公認心理士、ソーシャルワーカーが配置されています。認知症の早期発見、早期診断、早期治療を中心に、認知症と診断されたご本人・ご家族へのサポート、介護・福祉との連携など様々な支援をチームとなり関わっています。最近、認知症に関する新しい治療薬も使われるようになり、地域住民の「認知症」に関する関心も高まるなか、認知症疾患医療センターが重要な役割を担っています。また、地域住民や地域の認知症医療従事者等に対して関係機関と連携しながら啓発活動も行っています。認知症になっても「その地域でその人らしく」生活できる南部町であるよう少しでも貢献できればと思っています。気になる事があれば、お電話または直接ご相談ください。



最新の骨密度測定装置で 骨粗鬆症の早期発見を



当院では、信頼性が高く世界で活躍する米国ホロジック社の骨密度測定装置^{ホライゾン}Horizonを新しく導入しました！

「骨粗鬆症」の検査が簡単・安心・高精度に行えます。骨粗鬆症は骨量（骨密度）が減る、または骨質が低下することで骨がもろくなり、骨折しやすくなる病気です。骨折や、痛みなどの自覚症状がなくても骨量（骨密度）が低下していると骨粗鬆

症と診断されます。骨折の影響で寝たきりになったり、慢性腰痛に悩まされたり、背中が曲がったりして生活に支障をきたすなどの問題も発生しています。

日本では、約1,590万人が骨粗鬆症にかかっていると推定され、圧倒的に多いのは女性ですが、男性も増加傾向にあります。また加齢とともに患者数は増え、80歳代女性の2人に1人が骨粗鬆症と言われています。腰痛や、大腿骨の骨折で寝たきりにならないためにも、定期的な検査をおすすめします。

Horizonでの測定では、無理な姿勢は必要なくリラックスして検査を受けられます。

また、検査は検査室に入室してから約5分^{*}で終了します。^{*}測定する部位によって多少時間は異なります。結果は保存されますので、定期的な検査により、さらに精度の高い診断が望めます。

新しい装置で骨密度測定をしてみませんか？

予約制です。平日の14：00～17：00の間にご連絡ください。

南部町国民健康保険西伯病院 健診センター 0859-66-2211（代表）

看護フェアについて

5月12日（日）の「看護の日」に、キナルな んぶにて「看護フェア」を開催しました。救急蘇生講習や栄養指導など健康に関するブースを設け、多くの皆様に体験していただきました。また、南部中学校の吹奏楽部の演奏でこころが楽しく！各種飲食店の方々の料理でお腹も満足！となる一日となりました。ご来場ありがとうございました。



南部町国民健康保険西伯病院

〒683-0323 鳥取県西伯郡南部町倭397

TEL 0859-66-2211 <https://www.saihaku-hospital.com/>

病院に関するご意見、ご要望、また、広報誌に対するご意見などお待ちしております。

